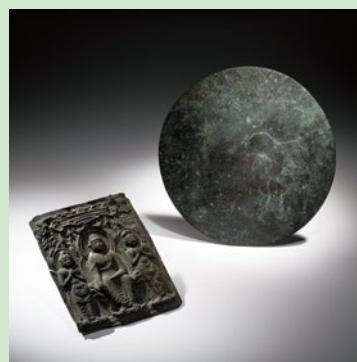


令和5年度 飛鳥資料館ミニ展示

「長法寺十三重石塔内に納められた押出三尊仏像と御正体」

1979年に橿原市一町の淨国寺境内に所在する十三重石塔の修理中に発見された、長法寺（現在は淨国寺と合併して廃寺）の押出三尊仏像と御正体（円鏡）を展示します。押出三尊仏像は白鳳期のものと推定され、中尊が倚座像の如来三尊像です。御正体は鎌倉時代と考えられる銅製の円鏡の鏡面に、左手に宝珠を持つ地蔵菩薩が毛彫りで表現されています。柱等に掛けられるよう、裏面には金具が付いています。普段見慣れた、立体的な仏像とは違う信仰の対象をご覧ください。

また、夏期企画展の写真コンテストの応募作品も募集しています。令和5年度のテーマは「飛鳥のくらし」です。「くらし」の情景を写した、とっておきの写真をお待ちしております。詳細はホームページをご覧ください。（飛鳥資料館 清野 陽一）



ミニ展示会期：2023年4月21日（金）～5月21日（日）

開館時間：9：00～16：30（入館は16：00まで）／休館日：月曜日

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問合せ：☎ 0744-54-3561

平城宮跡資料館 展示紹介「天平衣装の人形」

平城宮跡資料館の常設展示、宮殿復原展示コーナーでは、きらびやかな天平衣装をまとった4体の人形が皆さんを出迎えています。これらの人形は奈文研が1990年代に製作したもので、資料館では2001年の発掘速報展でお披露目されました。女官のスカートのような「裳」や顔を隠す「さしば」等、特徴的なファッショントを間近で観察することができます。

奈文研では長年の調査成果を活かし、古代の人々の暮らしをより身近に体感できるよう、建物の復原や衣食住、儀式、遊び等の再現に取り組んでいます。天平衣装もその一つで、2010年の遷都1300年祭を契機に披露される機会も増えました。様々なイベント等で目にした方も多いでしょう。同コーナーでは、ほかにも出土品や正倉院宝物を参考に復原した調度品を多数展示し、天皇の内裏における食事や遊びといった生活の空間を再現しています。ぜひ、華やかな宮中での暮らしを想像しながらご観覧ください。

（企画調整部 下山 千尋）



開館時間：9：00～16：30（入館は16：00まで）／休館日：月曜日（休日の場合は翌平日）

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/> お問合せ：☎ 0742-30-6753（連携推進課）

■ 記録

文化財担当者研修

○報告書編集基礎課程

12月5日～12月9日

14名

○報告書デジタル作成課程

12月12日～12月16日

10名

○史跡等保存活用計画策定課程

1月17日～1月23日

12名

○文化的景観調査計画課程

1月30日～2月3日

3名

○文化財三次元計測入門課程

1月17日～1月19日

20名

飛鳥資料館 秋期特別展

「飛鳥美人 高松塚古墳の魅力」

10月21日（金）～12月18日（日）

7,280名

飛鳥資料館 冬期企画展

「飛鳥の考古学2022」

1月20日（金）～3月12日（日）

3,360名

平城宮いざない館 展覧会

「のこった奇跡 のこした軌跡

—未来につなぐ平城宮跡—

10月29日（土）～12月11日（日） 36,339名

第26回古代官衙・集落研究集会

12月16日（金）・17日（土） 会場参加 68名

オンライン参加 118名

第22回古代瓦研究会シンポジウム

2月4日（土）・5日（日） 会場・オンライン参加 282名

現地見学会

○平城第650次調査（平城京左京三条一坊二坪）

1月20日（金） 317名

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>

Eメール koho_nabunken@nich.go.jp

発行年月 2023年3月